学校番号	315

令和５年度　国語科

教科	国語科	科目	古典Ｂ	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	「精選古典Ｂ　古文編・漢文編」（東京書籍）						
副教材等	カラー版新国語便覧新版六訂（第一学習社）　新精選古典文法改訂版（東京書籍） 新精選古典文法準拠ノート（数研出版） 新精選古典文法演習ノート（数研出版）　漢文学習必携三訂版（京都書房） わかる・読める・解ける Key&Point 古文単語 330（いいずな書店） 読むナビ古典３　演習編（いいずな書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・漢文も含め、我が国の古典文学に対する関心を持ち、時代を経ても変わらないもの（文学の主題）時代や国の違いによって変わっていくもの（文法、句法や語句、時代背景）を理解しながら、古典の世界に親しみましょう。有名な作品の冒頭文や有名な詩歌は覚えていきましょう。
・古典文法（用言、助動詞、助詞、係り結び、敬語）を理解し、古語の語彙量を豊かにすることによって、作品世界の理解を深め、古文を的確に読み取れるようになりましょう。古文では、省略されている助詞や主語、目的語などを補いながら、敬語等に注意して、主語の変化に気を付け、文脈を正確に読み取れるようになりましょう。そして登場人物の気持ちが理解できるようになりましょう。
・漢文では、覚えるべき文字（再読文字、返読文字、置き字、漢文特有の語句など）や書き下し文のきまりをしっかり覚え、句法を覚えていきましょう。
・予習として、必ず本文を音読してきましょう。そのうえで、古文では、意味の分かりにくい箇所の品詞分解をし、わからない古語を辞書で確認して授業を受けましょう。漢文では、書き下し文を自分で作り、わからない語句を漢和辞典で調べて授業を受けましょう。授業の後には、自分のノートで訳を確認し、覚えるべき語句や文法、句法を復習しておきましょう。できるだけたくさんの文章を読みましょう。
・提出物の期限は守りましょう。あとから復習しやすいように、自分の力で授業中にノートを完成させていきましょう。定期考査は、学習計画を立てて、自分のノートでしっかり学習して臨んで下さい。授業中の小テストも、準備をしっかりして受けるようにしましょう。

２　学習の到達目標

・有名な作品の冒頭文や、有名な詩歌のフレーズや故事成語などは覚えて、「教養」として身についている。
・自分の人生をさらに豊かにするものとして、抵抗なく古文や漢文に親しむ姿勢がみられる。
・古文では、自力で品詞分解ができ、古語辞典を使って現代語訳がだいたいできる。
・漢文では、自力で書き下し文ができ、漢和辞典を使っておおよその訳ができる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:読む能力	c:知識・理解
観点の趣旨	言語文化や時代背景、歴史や伝統に対する関心を深め、国語を尊重して古典作品に親しもうとする。	古典作品に表れた思想や感情を的確に読み取り、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにし深めている。	古典作品を読解するのに必要な仮名遣いなどの表記、文法、語句、語彙、古典常識、漢字、句法などの知識を身につけている。
評価方法	・行動の観察(授業中の発言等) ・提出物の点検（ノート、ワークシート等）	・提出物の点検及び分析（ノート、ワークシート等） ・定期考査	・行動の観察（授業中の発言等） ・提出物の点検（ノート、ワークシート等） ・定期考査 ・小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c		
1学期中間	説話・評論・漢詩（古体の詩）	「賢人右府」(『十訓抄』) 「歌のよしあし」(『俊頼髄脳』) 「行行重行行」(『文選』) 「石壕吏」(杜甫)	○	○	○	a:文章や詩に描かれている心情や筆者の考えを理解しようとしている。 b:文章に描かれている内容から、作品世界の背景を読み取り心情を味わい、読解を深めている。 c:文学史的な知識及び重要古語の意味を理解したか。既習の文法事項を理解しているか。説話文学・評論の流れ、漢詩の知識を理解しているか。	a:行動の観察及び提出物の点検 b:行動の観察及び提出物の点検及び定期考査 c:小テスト及び定期考査
1学期期末	物語・思想・日記	「須磨の秋」「住吉参詣」(『源氏物語』) 「性善」(『孟子』) 「不死之道」(『烈子』) 「うつろひたる菊」(『蜻蛉日記』) 「夢よりもはかなき世の中」(『和泉式部日記』)	○	○	○	a:描かれている人物の心情を表現に即して読み、読み深めようとしている。漢文の句法を理解し、読み解こうとしているか。 b:あらすじを理解し、人物の心情を表現に即して読み、読み深めている。漢文の句法を理解し、正しく理解している。 c:文学史的な知識及び重要古語の意味を理解したか。既習の文法事項を理解しているか。漢文特有の句法及び思想の流れを理解しているか。	a:行動の観察及び提出物の点検 b:行動の観察及び提出物の点検及び定期考査 c:小テスト及び定期考査
2学期中間	評論・物語・思想	「師の説になづまざること(巻二)」(『玉勝間』) 「父大納言の苦悩(巻一)」(『とりかへばや物語』) 「大道廃仁義」 「小国寡民」 「天下莫柔弱於水」(『老子』)	○	○	○	a:古文の評論になれ、筆者の主張を理解しようとしている。描かれている人物の心情を表現に即して読み、読み深めようとしている。漢文の句法を理解し、読み解こうとしているか。 b:古文の評論の文章の特徴をつかみ、筆者の主張を理解している。あらすじを理解し、人物の心情を表現に即して読み、読み深めている。漢文の主張を理解し、正しく理解しているか。 c:文学史的な知識及び重要古語の意味を理解したか。既習の文法事項を理解しているか。漢文特有の句法及び思想の流れを理解しているか。	a:行動の観察及び提出物の点検 b:行動の観察及び提出物の点検及び定期考査 c:小テスト及び定期考査

2学期期末	評論・俳諧・史話	「清少納言と紫式部」「文」(『無名草子』) 「藤簍冊子」(上田秋成) 「去来抄」(向井去来) 「為学」(『白鶴堂文録』)	○	○	○	a:俳諧になれ、表現に即して読み、内容を読み深めようとしている。漢文の句法を理解し、読み解こうとしているか。 b:あらすじを理解し、人物の心情を表現に即して読み、読み深めている。俳諧の特徴をつかみ、描かれた内容を理解している。漢文の句法を理解し、正しく理解している。 c:文学史的な知識及び重要古語の意味及び敬語を理解したか。既習の文法事項を理解しているか。漢文特有の句法を理解しているか。	a:行動の観察及び提出物の点検 b:行動の観察及び提出物の点検及び定期考査 c:小テスト及び定期考査
学年末	近世・小説	「浅茅が宿」(『雨月物語』) 「唇亡歯寒」(戦国策)	○	○	○	a:日本の近世の物語と中国の小説に興味を持っているか。 b: あらすじを理解し、人物の心情を表現に即して読み、読み深めている。漢文の句法を理解し、正しく理解している。 c: 文学史的な知識及び重要古語の意味及び敬語を理解したか。既習の文法事項を理解しているか。漢文特有の句法を理解しているか。	a:行動の観察及び提出物の点検 b:行動の観察及び提出物の点検 c:小テスト

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:読む能力　　c:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。